

6 高校生の特性を知ろう

☆校内支援の参考資料

次の資料には「かながわ子どもサポートブック」の実施方法や校内支援などに関係する資料が掲載されています。

「子どもサポートハンドブック～すべての子どもたちの笑顔のために～」令和5年神奈川県教育委員会



☆成年年齢の引下げ後も、20歳にならないとできないこと

- ・飲酒をする
- ・喫煙をする
- ・競馬、競輪、オートレース、競艇の投票券（馬券など）を買う
- ・養子を迎える
- ・大型・中型自動車運転免許を取得する

社会に出ていくための準備期

高校生の時期は、自分と他者との違いを強く意識しながら、ありのままの自分を受け入れられず混乱しがちです。誰一人取り残されることなく、資質・能力を身に付けていけるよう、教員は多様な生徒たちに正面から向き合うことが重要となります。

神奈川県では、令和5年度から「かながわ子どもサポートブック」を導入し、一人ひとりの児童・生徒の抱える悩みや困難の早期発見・早期対応に取り組んでいます。

成年年齢の引下げ

平成30年6月の民法改正に伴い、令和4年4月から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。このことにより、一人で有効な契約をすることができる年齢や、親権に服することがなくなる年齢が20歳から18歳に引き下げられました。また、女性の婚姻開始年齢が16歳から18歳に引き上げられ、婚姻開始年齢が男女とも18歳に統一されました。

消費者教育の推進について

成年となった者は契約の主体となります。そのため、かつて20歳未満まで認められていた、保護者の同意を得ずに締結した契約の取消についても18歳未満までとなります。これを踏まえ、自主的かつ合理的に社会の一員として行動する自立した消費者の育成のため、実践的な消費者教育を推進する必要があります。

個別支援が必要な生徒への対応を考えよう

チーム支援の留意点

一人ひとりの生徒の背景を考慮して適切な支援を行うためには、教員だけでなく外部機関とも連携してチーム支援を行うことが必要です。その際、生徒の学習情報、健康情報等の個人情報扱います。生徒情報の扱い方について、事前に校内で合意形成や共通理解を図ってから連携しましょう。

参考資料

- Co-MaMeガイド NISE（国立特別支援教育総合研究所）



キャリア教育の視点で考えよう

キャリア教育とは、生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のことを示します。

基盤となる能力や態度には、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己理解管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の四つがあります。例えば、授業や学校行事、部活動等での様々な学びや体験を通して、「相手の立場を考慮し、考えを受け止める」「自分の役割を考え、力を合わせて行動する」「自分を振り返り、長所をのびし、短所を克服しようとする」「感情に流されず、自分のすべきことに取り組む」「課題を発見し、解決のための工夫ができる」「目標を立て、実現のための方法を考えている」等の態度や能力を育てることがキャリア教育の充実につながります。

令和2年4月から「キャリア・パスポート」が、全ての小・中・高等学校、特別支援学校で運用されています。「キャリア・パスポート」は、生徒自身が長期的に自己理解を深めるのに役立つほか、教員が生徒を深く理解し、キャリア発達を支援する効果が期待できます。

シチズンシップ教育

神奈川県では、平成23年度から、キャリア教育の一環としてのシチズンシップ教育の取組を全ての県立高等学校等で進めてきました。

シチズンシップ教育の内容は、「法に関する教育」「政治参加に関する教育」「経済に関する教育」「モラル・マナーに関する教育」です。これらを通して、「責任ある社会的な行動」「主権者として国や地方公共団体への積極的な政治参加」「社会や経済の仕組みについての理解と諸課題の解決」などの能力や態度を育成することをねらいとしています。

社会の諸課題を生徒が自分事として捉え、実社会で生かすことができるように、主体的・対話的で深い学びの視点から、課題を探究したり、解決したりする学習などを取り入れることがシチズンシップ教育の充実につながります。

☆キャリア・パスポート

生徒が、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのことです。

校種を越えて継続的に記録を蓄積していくことが特徴です。

☆シチズンシップ教育

これからの社会を担う自立した社会人を育成するために、積極的に社会参加するための能力と態度を育成する実践的な教育のことです。

キャリア教育の参考資料

○「中学校・高等学校キャリア教育の手引き」令和5年3月 文部科学省

